

番号	22	令和8年度公共事業再評価調査				担当課名	砂防課																								
事業名	急傾斜地崩壊対策事業				事業主体	静岡県																									
箇所名	たきようあかまつとうげ 建穂赤松峠No.2				関係市町	静岡市																									
事業採択年度	令和4年度		計画期間	令和4年度～令和12年度																											
用地着手年度	令和7年度		工事着手年度	令和8年度																											
再評価理由※	事業着手(R4)後5年が経過																														
全体事業費	百万円 289	投資状況 (百万円)	～R6年度 26	R7年度 15	R8年度見込 40	計 81																									
事業概要	(1)事業目的 建穂赤松峠No.2地区は、静岡市に位置し、保全対象として人家59戸と市道を含む急傾斜地である。 当該地区の斜面は荒廃し、豪雨等によるがけ崩れの発生により甚大な被害が懸念されるため、急傾斜地崩壊防止施設を整備し、住民の生命を守るものである。 (2)事業内容 全体延長 208 m 擁壁工 206 m																														
【視点1】	(1)事業を巡る社会経済情勢等の変化 近年、局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が多く発生しており、災害に強いまちづくりのための地震・風水害の対策へ高い期待が寄せられている。 事業着手した令和4年度からこれまでに静岡市内では86件の土砂災害が発生している。 当該地区では、がけ崩れの発生により、人家、市道及び事業所（地域経済の保全）等に被害が及ぶことが懸念されるため、急傾斜地崩壊防止施設を整備する必要がある。 (2)事業の投資効果 ○費用便益分析結果（令和8年度時点） <table><tr><td>B/C (i=4%)</td><td>参考:B/C (i=2%)</td><td>参考:B/C (i=1%)</td><td>EIRR</td></tr><tr><td>40.5</td><td>67.8</td><td>90.9</td><td>39.1%</td></tr></table> - 総便益 (B) 93.0 億円（平均便益：5.5億円） - 総費用 (C) 2.3 億円（建設費：2.25億円、維持管理費：0.05億円、用地残存価値：0.03億円） ○見込まれる効果（定性的な効果） - がけ崩れによる甚大な被害の防止 (3)事業の進捗状況（令和8年度見込み） <table><tr><th>区 分</th><th>進捗率</th><th colspan="2">内 訳</th></tr><tr><td>事業費</td><td>28.0%</td><td colspan="2">（ 81 百万円 ／ 289 百万円 ）</td></tr><tr><td>事業量</td><td>擁壁工 0.0%</td><td colspan="2">（ 0 m ／ 206 m ）</td></tr><tr><td>用地取得</td><td>28.1%</td><td colspan="2">（ 433 m² ／ 1,540 m² ）</td></tr></table>							B/C (i=4%)	参考:B/C (i=2%)	参考:B/C (i=1%)	EIRR	40.5	67.8	90.9	39.1%	区 分	進捗率	内 訳		事業費	28.0%	（ 81 百万円 ／ 289 百万円 ）		事業量	擁壁工 0.0%	（ 0 m ／ 206 m ）		用地取得	28.1%	（ 433 m ² ／ 1,540 m ² ）	
B/C (i=4%)	参考:B/C (i=2%)	参考:B/C (i=1%)	EIRR																												
40.5	67.8	90.9	39.1%																												
区 分	進捗率	内 訳																													
事業費	28.0%	（ 81 百万円 ／ 289 百万円 ）																													
事業量	擁壁工 0.0%	（ 0 m ／ 206 m ）																													
用地取得	28.1%	（ 433 m ² ／ 1,540 m ² ）																													
事業の必要性	評価 継続が妥当																														
【視点2】	今後の事業の進捗の見込み 住民の多くが「事業を継続する必要性を感じる」と回答しており、事業に対する地元住民からの要望は強い。 用地取得について、令和7年秋に急傾斜地崩壊危険区域指定が完了したことから、順次用地買収に着手しており、令和11年度に完了する見込みである。工事を計画的に推進し、令和12年度の完成を見込む。																														
	評価 継続が妥当																														
【視点3】	新たなコスト削減・代替案立案等の可能性 今後、工事を進めるうえで、現場発生土について、工事間流用（他工区の補強土壁工への使用等）の検討を行い、コスト削減に努める。																														
対応方針（案）	(1)対応方針（案） 本事業を 【 継続 】 する。 (2)理由 本事業は、急傾斜地の崩壊による被害を未然に防止するものである。近年、県内でも甚大な土砂災害が発生しており、地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。																														

建穂赤松峠No.2地区
急傾斜地崩壊危険区域
(静岡市葵区建穂)

建穂赤松峠No.2

至 川根本町

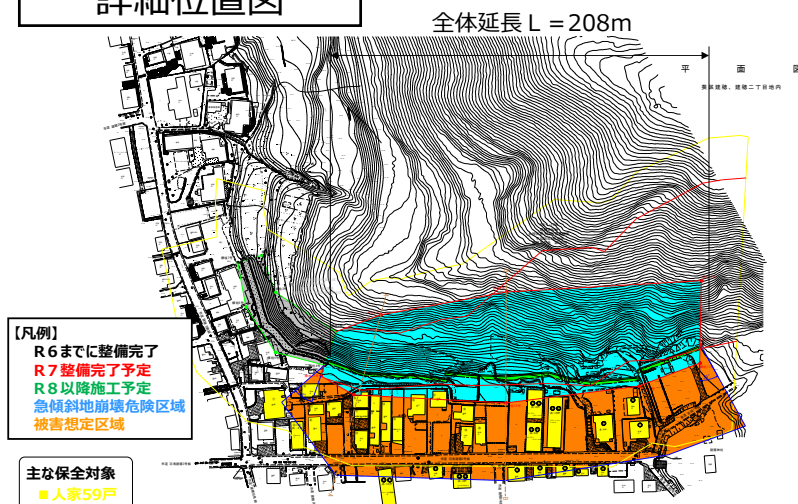
国道362号

至 静岡市街

250m
1:5,000

限ります。印刷物やコピー画像の庁外利用は禁止です。

詳細位置図



標準横断面図



建穂赤松峠No.2地区は、静岡市葵区に位置し保全対象に人家59戸を含む急傾斜地である。当該地区の斜面は荒廃し、豪雨等によるがけ崩れの発生により甚大な被害が懸念されるため、急傾斜地崩壊防止施設を整備し、住民の生命を守るものである。

箇所名：建穂赤松峠No.2（静岡市葵区建穂）

計画期間：令和4年度～令和12年度

全体延長：208.0m

事業内容：重力式擁壁工 延長206.1m

3. 事業概要

前回からの変更点・理由

区 分	前回 (R4)	今回 (R8)	主な変更理由
①計画期間	R4～R8	R4～R12 (+4年)	所有者の特定が困難な未相続地が多く確認され、境界立会及び用地交渉に時間を要したため。
②全体事業費	216百万円	289百万円 (+73)	人件費・資材及び土砂処分費高騰のため。

4. 事業の投資効果（費用便益比）

事業の投資効果（費用対効果の検証）

総便益 (B)

総便益 93.00億円

- ☐ 直接被害
 - ・家屋被害、道路被害、人的被害
- ☐ 間接被害
 - ・精神的被害

総費用 (C)

総費用 2.3億円

- ・建設費
- ・維持管理費



費用対効果(B/C):40.48 経済的内部収益率(EIRR):39.1%

前回の費用対効果(B/C):5.9

・「砂防事業の費用便益分析マニュアル」の改定に伴い、人的被害額の精神的損害額が2.26億円/人⇒6.01億円/人に上げられたため

5. 今後の事業の進捗の見込み

●事業推進のための今後の取組

- ・工事の停滞、進捗遅延を回避するために、広範囲かつより密な地元調整に努める。
 - ・用地未相続箇所について、進捗遅延を回避するために、先行して相続者に働きかける。
 - ・建設発生土の有効利用を検討し、事業費の縮減に努める。
-